

始良市特産品協会 会員インタビュー

さつま縫房 & キッチンヌーボー 様



「さつま縫房（ぬうぼう）&キッチンヌーボー」様は、始良ニュータウン中央公園の前に位置する事務所兼自宅開放型レストランである。代表の松永由紀子様にお話を伺った。

——「さつま縫房」様は焼酎・ワインなどお酒の包装用布袋を製造・販売されておられます。ホームページを拝見すると、一升瓶、五合瓶、ワイン瓶それぞれのサイズに合わせた包装用布袋が色とりどりのデザインで掲載されていますね。創業されてから今年で5年目とうかがっておりますが、包装用布袋に着目したきっかけを教えてください。

「私の主人は毎日晚酌をしますが、焼酎の一升瓶がそのままむき出しで置いてあるのがどうも美しくないとい前から思っていました。何かカバーできるものを作ろうと思ったのがきっかけです。」

——晩酌をする人にとっては耳の痛い話ですが、まさに主婦の視点からスタートされた事業なのですね。

「そうですね。焼酎瓶がそのまま家に転がっていると、なんだか「呑んべえ」の家みたいでしょう（笑）」

——瓶をカバーできるものを買うのではなく、作ろうと思われたということは、もともと裁縫がお得意だったのですか。

「はい。裁縫が好きでミシンを踏み出すと時間を忘れてしまうほどです。そのため、いざ作ろうとなったらいろいろ考えが出てきました。立体的な裁断が必要だ、とか、取っ手があれば持ち運びに便利だなとか製図しながらあれこれアイデアが膨らんでいきました。取っ手のところはこのように「4枚はぎ」になっているのですが、これはお花をイメージしています。また、「包む」という行為は風呂敷をはじめとして日本古来の所作ですよ。専門家の方にも相談し、半年がかりで試作しました。そして、意匠登録、商標登録も経て、県の特産品コンクールにも応募しました。残念ながら受賞には至りませんでした。これをきっかけにメディアでも紹介されるようになり、県内の酒屋さんで試験的に販売もされています。」



——最初に試作品を作られたときからこれを事業にしようというお考えがあったのですか。

「全然思わなかったです。でも、周囲の方々から勧められたんです。次第に、一升瓶を覆う商品があったら面白いかもと自分でも思うようになってきました。」

——「さつま縫房」という名前の由来を教えてください。

「鹿児島の文化でもある焼酎を包む布袋ということで、「鹿児島」「さつま」を前面に出したかったので「さつま」を付けました。縫房は、「縫う」という言葉にフランス語の「nouveau」を合わせました。英語で「new」、日本語で「新しい」という意味です。ワインはフランスの文化でもありますので、焼酎・ワインそれぞれに合うように「さつま縫房」と名付けました。」



——一升瓶用の「一升守（いっしょうまもる）くん」、五合瓶用の「合子（あいこ）ちゃん」、ワイン瓶用の「ヌーボー洋呼（ようこ）さん」、それぞれとても可愛いネーミングですね。

「布はすべて帆布（はんぷ ※布地が強度に優れており焼酎の重さに耐える素材）」を使用しています。また、紐は薩摩隼人の脇差しをイメージした「かた縄結び」になっています。

ワインは瓶の形状が多数ありますので底の形を特定しないで、開閉についても簡単にできるようコンシールファスナーを取り付けました。

焼酎・日本酒・ワインをお洒落に演出することが目的です。退職祝、米寿、結納、お歳暮など、プレゼントとしてお酒を贈るときに注文していただくことが多いですね。」

——購入したい場合はどうすればいいでしょうか。

「ホームページから注文可能です。プラス500円で名前・メッセージ入れも対応します。少し高価になりますが、生地を大島紬に変えることも可能です。また、ご希望の生地、柄がある場合は相談してください。」

——今後はどのような展開を考えておられますか。

「洋服やバッグ類も手作りしたものを販売しています。酒瓶の包装用布袋以外でも、さつま縫房として布製品をこだわりの生地で作っていきたいです。」



——ありがとうございました。さて、松永さんは「さつま縫房」の他、自宅開放型レストラン「キッチンヌーボー」を今年3月に始められましたね。

「以前、団地管理組合で働いていた時期があったのですが、この始良ニュータウンにもひとり暮らしのお年寄りが増えてきました。そのような方々や地域の方々が食事をしながらおしゃべりできる場所をつくりたいという思いがありました。

縫製の仕事は生地を広げるために大きなスペースが必要なのですが、その仕事をしているとき以外は空いているスペースなので、ここを使ってごはんをつくったら良いのではないかとということで始めた



ころです。」

「月・水・木曜日は自宅開放型レストランとして営業しており、火・金曜日は惣菜を販売しています。お弁当については午前10時までに注文いただければ月曜日から金曜日まで毎日配達します。

惣菜は、鹿児島県の郷土料理でもある「がね」が人気です。キッチンヌーボの「がね」は昔ながらの「がね」です。甘くてもちもちしていますよ。その他、その日の仕入れにより異なりますが、鯖

の味噌煮、生姜焼き、赤魚の甘酢あんかけ、チンジャオロース、ホイコウロウ、餃子、豚カツ、サラダ類、酢の物などを提供しています。

お弁当は、当店自慢のコロッケ弁当をはじめ、複数のお弁当を用意しています。配達も行ってまいりますのでぜひご利用ください。」



【お問い合わせ】

さつま縫房

〒899-5656 始良市西始良3-12-18

電話：090-6298-0235

HP: <http://satsuma-nubo.com/>

MAIL: info@satsuma-nubo.com

キッチンヌーボ

〒899-5656 始良市西始良3-12-18

電話：070-2382-0141

営業日：ランチ提供 月・水・木

惣菜販売 火・金

弁当販売・配達 月～金

(土・日・祝 定休)

取材者・文責

〒899-5492 始良市宮島町25

始良市役所 商工観光課 商工振興係

電話 0995-66-3145